

(様式2)

学校関係者評価報告書

(今治北高等学校)

学校番号 (16)

評価実施日	令和 5年 2月 15日 (火)		
委員	氏名	所属等	備考
	伊東 昌紀	元PTA会長	
	篠宮 博幸	元PTA会長	
	八塚 誠一	元PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 令和4年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 文理関係なく、学校の授業をしっかり受ける指導を進めてほしい。</p> <p>就職してから、社会における仕事内容が変わってきている。簿記等の商業科スキルは、パソコン(情報処理)に移行しつつある。北高で学んだことが十分発揮できない場面が多い。職場で必要になるスキルが変わってきている。キャリア教育の充実が必要となると思う。</p> <p>(2) 生徒指導 高校野球においては、今治市内でも部員不足の高校がある中、北高は部に入部する生徒が多い。是非、頑張っていたきたい。</p> <p>将来社会に出て、強く主張できる生徒になってほしい。個人差はあるが、就職してもすぐに会社を辞めてしまうものが多い。自分の思うとおりにならないからやめる。企業は日本人がいないから外国人に頼るようになる。たくましく生きる力が必要である。</p> <p>(3) 進路指導 夜遅くまで熱心な指導を感謝したい。</p> <p>就職に関しては、高卒での雇用を、安易な意識で捉えている雇用主がいるという現実も知っておく必要がある。</p> <p>(4) 業務改善 コロナ禍の中、様々な対応感謝したい。</p>	<p>授業評価アンケートにおいても、肯定的な意見が大半である。各教科でアンケートをもとに授業改善を行っていききたい。</p> <p>ITCの活用など、様々な活動を行っている。今後とも御協力をお願いしたい。</p> <p>部活動の加入率が96%を超えている。部活動に対する意識の高さを感じる。今年度は県総体に出場する生徒が260名に達した。これからも努力したい。</p> <p>生徒会を中心に、交通安全や身だしなみの在り方など、自分たちで考える機会を設けている。主体的に活動できる生徒の育成にこれからも努力していききたい。</p> <p>現在の推薦入試合格者は昨年並みである。今後も努力していききたい。</p> <p>今年度の就職内定者には、普通科生徒も含まれている。多様な生徒の進路に対応していききたい。</p> <p>会議や事務作業を見直し、効率化を図っていききたい。</p>

2 重点目標について

今後とも指導をお願いしたい。

スクール・ミッションを作成し、より具体的に学校の目標が定まったと思う。今後とも御協力ををお願いしたい。

3 説明・公表について

学校評価アンケートは、集計後学校改善に活用していただきたい。また、結果を保護者等に公表する必要があるのではないか。

学校評価は、ホームページで公開している。他の項目は、自己評価に合わせて、アンケート項目の検討を行い、ホームページなどで公表していきたい。まずは、学校改善に生かせることが大事である。

4 学校運営への提言

これからは主体的に取り組む学習が大切になる。授業が勝負である。情報教育の研究が必要であり、そのためには教員の余裕が必要である。働き方改革や部活動指導など、考える必要がある部分がある。「今までよかったから～」ではなく、余裕があつて、教師力を高められる学校になってほしい。

年3回、顔を合わせて話を聞ける機会が重要であるとする。意見を聞き、学校運営に生かせる場面を作っていきたいと考える。